



2014年6月12日

サンゴバングループと有機EL照明用部材に 関する合併事業に合意

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市、社長：有岡雅行）は、このほど、サンゴバングループと有機EL照明用のIEL（注）（Internal Extraction Layer：内部光取出層）付ガラス基板の開発、製造及び販売に関する合併事業を行うことで合意をしました。

有機EL照明の普及のためには、発光効率（光取り出し効率）の一層の向上が大きな課題となっています。この分野におけるサンゴバングループの先進的な基礎研究に当社の組成開発、プロセス開発における技術やノウハウ、知見などを組み合わせることにより、高性能なIEL付ガラス基板を製造し、世界市場に供給してまいります。

当社は、有機EL照明用基板として、超薄板ガラス<G-Leaf>や高屈折率ガラス基板<HX-1>等を既開発しサンプルワークを進めております。これらと併せて、今後、サンゴバングループとの協力関係のもと、成長が期待される有機EL照明市場に対して、高機能なガラス製品によるソリューションを提供し、次世代照明分野におけるビジネスの拡大を図ってまいります。

（注）IEL：Internal Extraction Layer（内部光取出層）。有機EL層で発生した光を効率的に外部に取り出すために基板上に形成された層。有機EL照明の発光効率向上に寄与する。

<合併事業の概要>

社名	OLED Material Solutions 株式会社
所在地	滋賀県東近江市（当社能登川事業場内）
合併当事者	当社（出資比率60%） サンゴバン株式会社※（出資比率40%） ※サンゴバングループの日本法人
合併事業開始時期	2014年内（予定）。競争当局の認可後
代表者	社長 竹内宏和（当社取締役常務執行役員）
株主資本	7億円（予定）

以上

（リリース内容に関するお問い合わせ先）

日本電気硝子株式会社 総務部（広報担当）

TEL：077-537-1702